

(11) 訪問団に参加した経験が、進路選択や就職先の選択、その他のことに役立ったと思うこと、または、今後活かしたいと思うことを教えてください。

【中国】

中国の中学生の英語の発音がすごかったので自分も英語を勉強したいと思いました。
 ホームステイした先でのおもてなしが豪華だった(嫌いな食べ物があれば好きな食べ物を次々と出してくれたり)こと、日本ではそこまでしていないと思うので、中国のような豪華なおもてなしができればいいと思う。
 新しいことにチャレンジする勇気が持てるようになった。国境を越えた交流を積極的に行っていきたい。
 訪問団に参加したことによって、自分の世界観が広がったと思う。自分の身の周りや日本での常識が全てではないと知って、物事の見方・考え方が変わったと思う。
 中国のことを実際にみて知り、興味関心が高まった。身近な人たちからでも中国について伝えたい。
 将来もっと外国に行っているいろいろ学びたい。
 日本だけでなく、他国とも関わるような仕事をしたいと思うようになりました。英語はどこの国でも通じるので、もっと勉強しないといけないと思いました。
 コミュニケーション能力がついたと思う。外国の人に道を聞かれたりしたときにも、積極的に答えたり、話をしたりできるようになった。
 自分の意見や気持ちを伝えることのいい経験になった
 今のところはまだないが、参加して自分の視野が広がったと思う。進路選択の大きな後押しになると思う。
 またこういう機会があったら参加してみたいと思います。
 英語は、とても大切だと改めて感じました。中国の生徒は、とても英語の発音がきれいで驚き、やはり、英語を話せるのと話せないのは、大きな違いだと分かりました。英語に関心を強く持っているの、これからたくさん学び、世界に通用するよう頑張りたいです。
 中国の魅力をより多くの人に教えたいです。
 国際ニュースに関心をもち、進学後も自分からそういったことを学ぶようになった。
 進路の選択に直接の影響は与えなかったが、積極的にコミュニケーションをとるようになった。
 訪問団に参加したことで、外国の方と交流が持てやすくなりました。
 英語力の必要性は痛感したので、英語についてはないがしるにしないよう努力した。
 言葉があまり通じない中でのコミュニケーションの取り方。
 英語の大切さを学べたので、これからも学び続けたいと思った。
 外国語の習得(今は英語)に努めている。
 初めて海外の同世代の子と話せる機会だったので、海外も身近に感じる事ができ、将来も英語を頑張って働きたいという目標ができた。
 中国について興味がさらに深まったので、大学進学の際、学部選択でよい影響が出た。
 早いうちに海外の文化に触れて視野を広げられたことはとても貴重な経験で、今後他の言語を用いてグローバルに活躍したい人は、足がかりとして次の一步を踏み出しやすくなると思う。この経験が自信となり、時事的ニュース等にも自然に興味湧くので、面接やエントリーシートの記入等、役に立つ時は多くあると感じる。
 外国にも目を向けるようになった。英語に興味をもつことができた。
 外国でも通用する英語を身に付ける。
 外国に興味をもち、将来外国で仕事がしたいと思った。
 私は今受験生で、富山大学人文学部への進学を強く望んでいます。進路決定には悩みましたが、ここに決めることができたのは大学でもう一度国外へ訪問したいと思わせてくれたこの経験のおかげだと思います。
 中国の現状
 人ともっと関わりたいという気持ちが湧き、現在看護師を目指して日々勉強に励んでいます。
 大学選びetc進路選択には役立った(国際系)しかし、就職先の選択は大学時代の経験でかわった。
 外国についてもっと知りたいと思え、多くの人とたくさん関わりたいと思えたので、将来外国との関わりをもつような仕事をしてみたい。
 外国語を使った職業に興味をもった。
 外国についての知識。
 ホームステイの経験はたくさんの刺激を受けた。
 日本以外の国のことについて知りたい、見てみたいと思うようになった。
 海外が近い存在だと知った。
 初めて海外へ行って、様々な経験ができたことは、私の人生の財産になったし、就職活動での履歴書にも書くことができたので、参加してよかったと思っています。
 コミュニケーションを取ろうとする力は高められたと思う。
 企業ではグローバル化が進み、海外との交流は必要だと思うため、今後必ずこの経験が就職してから海外出張などで役立つと思う。
 中国語だけでなく、英語にも興味をもち、外国の方とコミュニケーションをとりたいと思うようになった。
 語学力を身に付けたいと思いました。
 訪問団に参加してみて、改めてコミュニケーションをとる力は大切だと感じました。だから、これからの生活の中でもっと色々な人と関わって、会話の能力を高めたいと思います。
 京都に進学したので、外国人に道を聞かれたり、話す機会があります。外国人とふれあう楽しさを知っていたので、今でも積極的に楽しく話したりしています。

普段見ない物を目の当たりにして、視野が広がった。
 高校の国語などで、魯迅の物語を読み解くうえで、基礎知識をもって取り組めた。ひっかかることなく学んでいった。
 自分の視野が広がったと思います。
 様々な人とうまくコミュニケーションをとっていくこと。
 コミュニケーションにおいてまずは相手の目を見ることということがよくわかった。
 話の話題になる
 ごく一部だが外国を知って日本のよさを知れたのはよかった。
 外国というものにとても興味関心がもて、留学や働くということで暮らしを経験してみたいと思った。
 恥ずかしがらずに自分から積極的にコミュニケーションを取ろうと思う。
 外国に興味湧き、語学を学ぼうと思うきっかけとなった。
 言葉が通じなくてもコミュニケーションをとろうとする姿勢を持てば、相手には何かしら伝わる。
 初めての海外だったため、海外へ行くことの抵抗感が少なくなったと思う。

訪問団に参加したことで、自国についてもっと学ばなければと思われ、人との交流をよくするようになりました。
 職種を問わず、年齢も関係なく様々な人々と話すことで学ぶことが多く、今後もかわりを広くもっていきと思います、20代のうちに吸収できることはすべて吸収して、外国の方との交流もしていきたいと思います。

ニュースなどで日中の関係悪化や中国に対する批判があっても、現地で中国の方と接した経験があるため、一方的な情報をうのみにしないという姿勢を持つことができるようになったと思っています。
 中国を訪問したことで、外国と日本についての関心が高まった。非英語圏でも英語という言葉の有用性を実感し、英語教師を志すようになった。異文化に触れる楽しさを知り、現在も中国人を初め、多国籍の人と交流を行っている。
 英語をもっと勉強したいと思いました。
 もっと英語力を身に付けて、他の国や、長期間の留学に挑戦してみたいと思った。

【アメリカ】

その経験から英語教師を目指し、今年実現した
 実際に活かされたかはわからないが、市の事業に参加しているというアピールにはなったのではないと思う。アメリカの生活について聞かれたときに、ある程度答えられるようになった。
 英語を話す力がなくても、外国の方とコミュニケーションをとったり、笑いあったりできたことが、将来の自分に役立ち、自信がついたと思います。
 積極的に自ら行動すること。
 外国へ行くことへの抵抗が少ない中学生という比較的若い時期に、海外でいろんなものを見たり知ったりすることができたことで、視野が広がった。また、海外へ一度でも出たことがあるという経験が自信につながった。

当時の私は「上手く英語を話せなかったら恥ずかしい」と思って、あまりたくさん英語を話せず、悔しい思いをしました。その経験から、「もっと英語を上手く話せるようになりたい」と勉強の意欲が上がり、成績も伸びました。

まだ感じたことはありませんが、いつかは役に立ったり、活かせる時が必ず来ると信じています。
 この国際交流に参加したことで、現在も海外への興味をもつことができおり、最近では現在学んでいる分野において、イギリスへ研修に行き、学びを深める努力をしている。中学生の時に海外を知ることができたことが、影響していると思う。

訪問団に参加したことで、外国により興味をもつようになり、進路選択で役に立ちました。
 参加後はもっと多くの様々な人と接する仕事したいと思い始め、航空業界を目指すきっかけになりました。オレゴンに行って日本人にはない考えを実体験したことによって、モノの考え方が柔軟になり、より多くの視点で考える力がついたので、今後もいかにしていきたい。

外国に行くことで、外国語を話すのに抵抗がなくなった。英語の検定にも積極的に受けれるようになった。
 仕事で直接海外に関係しなくても、英語を使う機会はあると思うので、完璧な文ではなくても、相手を思い、伝えていこうと思いました。

体験したことのないことや、不得意なことに対しても、挑戦してみようと思えるようになった。アメリカへの国際交流に参加したことが、県外の学校へ進学するきっかけにもなった。
 ホストファミリーとの会話の中で通じなかったことや交流会での会話が成立しなかったことで自分は将来通訳になりたいと思えるようになりました。

高校でも海外研修に参加する予定(H28.3月ニューヨーク)中学校で参加したからまた行きたいと思った。
 海外に行くということが身近に感じるようになり、その後、海外へは3回行きました。
 自分から積極的にコミュニケーションを取ること大切だということ
 外国の人とコミュニケーションをとるときには言葉よりノンバーバルコミュニケーションを大事にしたいと思っています。
 外国人に話しかけられてもなんとか答えようと思うようになった(英語ができなくても)
 グローバルな職業への興味、高校での授業選択時に役立ったと思う。
 英語力がついて、ALTとの会話が楽しめるようになった。高校、大学進学に有利だと思う。
 国際関係の大学の学部を選んで、国際関係の仕事に就きたいと思っています。
 言葉が通じない人と積極的にコミュニケーションを取ろうと思うようになったことが、社会に出てから役に立つと思う。
 英語への関心が高まり、今でも英語に大変興味をもち、英語に携わろうと日々活動しています。

英語への関心が高まり、より一層勉強し、資格を取りたいと感じた。
英語を話して生活する具体的なイメージがついたので、外国人と街中で話すことが苦にならなくなった。
訪問団に参加したことがきっかけで将来目指すものが明確になり、高校・大学としっかり目標をもって希望校へ進むことができました。訪問団への参加がなければ今の私は全く違う人生になっていたと思います。それほどに良い影響を与えてくれた派遣事業でした。
自分の言葉で実際にコミュニケーションをとれた喜びが大きく、外国語学部への進学を決めた。また、国際的な仕事についていた今も、その初心を忘れずにいたい。
将来世界的に活躍できる人になりたいと思うようになった。今回の反省などを今後、海外に行くときに生かしたいと思うようになった。
訪問前はあまり将来の夢を具体的に考えていたなかったが、現地で小学校に行った際、子供の目の輝く様子や、日本語を一生懸命学ぶ姿を見て、自分もどんどんいろんな知識を子供たちに伝えたいと思い、今では教師になって、ゆくゆくは日本語教師として海外で働きたいと考えている。
英語を使っているいろいろな人と交流を持ちたいと思った。
アメリカに訪問したことにより、英語に興味を持つようになり、英語が自分の得意科目になりました。資格取得や受験、就職活動でのアピール等に大いに役立ち、今後は海外での勤務等に活かしていきたいと思います。
訪問団派遣により、日本の枠をこえた見識が身についた。グローバルな職に就きたいと思うようになった。
英語に自信がついて好きになりました。テスト等も、リスニングや英作文の点数が上がりました。外国との関係を縮めたいと思い、国際関係の仕事に就きたいと思うようになりました。
英語を話す楽しさを感じることができたので、将来はもっと多くの人々と英語でコミュニケーションをとって視野を広げていきたいという目標を持つことができました。
英語を本気で学びたいと思った。
積極的に外国に行き、異文化を学んでいきたい
英語を話すことがとても大切に感じた。アメリカで学んだ知識が日本でも活かせることがあった。
外国へ行くことや外国の人とかかわることへの抵抗が少なくなったように思うし、将来外国の人と働くことにも抵抗を感じにくくなったように思う。
訪問団に参加したのが私にとっての初めての海外留学で、それをきっかけとして、もっと海外について深く知りたい、と思うようになりました。その気持ちは大学生の時により大きくなり、ベトナム・カンボジア・カナダ・オーストラリアと留学しました。興味関心が高まるのはもちろん、度胸がつく等、様々な場面で本当に役立ったと思っています。
英語を活かせる仕事などの進路を考えるようになり、視野が広がった。
外国語(英語)の需要を実感したので、もっと英語力をつけて英語を生かした職業に就きたいと思うようになった。
今後社会に出て外国の方と話す機会があったらこの経験を活かしたい。
私は今、航空自衛官として他県で勤務しています。訪問団に参加した経験は、今までの面接試験で自己アピールする話題としてとても役に立ちました。また、国際貢献など、機会があれば、この経験を活かしたいと思っています。言葉が通じない相手とのコミュニケーション方法を学ぶのに役立ったし、何より、将来に新たなイメージを加えることができた。
より広い視野で物事を見れるようになった。大学の学部選択
参加前よりも英語に興味をもち、もっと話せるようになりたいと意欲を持つようになりました。その結果、高校3年生まで英会話スクールに通い、TOEICでも良い点数がとれるようになり、得意科目となりました。
本場の英語を聞く能力、話す能力が少しでもついたので、普段の生活で、外国人などに道を聞かれたり、英語で質問されたときの返事を自信を持って言えるようになった。
アメリカに訪問したことで、英語への興味が高まり、学習に意欲的になった。その学習意欲の結果、次の留学につながり、より外国に興味を持てた。
自分の英語が外国でどのくらい通じるのかを知ることができたこと。もっと英語の勉強をがんばろうと思うことができた。
初めての海外経験をすることで、自分にはまだまだ知らない世界があるという事を感じ、より学びたいという意志が高まった。その時の思いが今の大学への進学やマスコミへの就職にも強く結びついていると感じている。
英語学習の意義を再確認できた。
外国人とのコミュニケーションをとることで、外国人と話す怖さがうすれた。
世界観が大きく広がったこと
海外へ興味を持つようになり、そういった事業への参加意欲を持つようになった。
外国語の文化を知ることはもちろん、外国と比較することで日本の文化をより深く理解することに役立ったと思う。
言葉が通じなくてもコミュニケーションをどうにかしてとろうとする姿勢、努力がその後の自分の将来の夢や進路に自信が持てるようになった。できないことをできないと思わずに、とりあえずやってみようと思うようになった。
あらゆることをいろいろな角度から考えるようになったと思う。ホームステイ先で、日本の文化などたくさん尋ねられたけれど、答えられず、それがとても恥ずかしくて、日本の歴史など以前よりも深く勉強しました。
外国へ行ったことがあるという経験が自信になった。中学生ではなかなかできない体験だと思う。

今「外国とかかわるような仕事がしたい」と思っている人は、実際にこの派遣団に参加したりすることが進路選択のためになるだろうなと思いました。外国語のコミュニケーションの難しさと、伝わった時の喜びを味わえるのがよかったと思います。

語学、特に英語をもっと本格的に学びたいと思い、実際進路選択に影響した。

アメリカの国際交流に参加して、さらに意欲的に英語を学びたいという意志が強まり、国際系の高校に進学し、1年間留学経験をした。大学では国際関係を勉強しており、将来はグローバルな企業に就職したいと考えている。

度胸がついた。

高校受験の面接のとき、面接官との話題にすることができた。

現在、小学校教員として働いている。この訪問団に参加できたことで、人間はみな同じだと感じるすることができた。この経験を生かして、子どもたちの国際交流を促すことができると思う。

伝えようと強く思い、あきらめず頑張れば、相手には自然と伝わっていくこと。

より語学を勉強し、外国の文化に触れたいと思うようになりました。また語学力を身に付けたらホストファミリーに感謝を伝えるに戻りたいという目標もできました。

自信につながった

悔しさやアメリカに対して好感の持てない自分に対して変化を求めるようになった。それによって、もう一度他の外国に留学することを決意し、一年間ドイツに留学した。

コミュニケーションをとるときに言葉が通じるかどうかといったことよりもまずは話そうとする姿勢をみせることが大切だと思う。

就活の面接における1つの話題として役立った。

外国の人たちとコミュニケーションを取り、海外で働きたいという思いがさらに高まった。

積極性が大事だと思った

国際交流のとき自分の気持ちを上手く英語で表現できなかった。今も英語には苦手意識があるけれど、その経験があったことでもっと頑張ってみようと思った。近いうちに国外へ行く予定があるので、この経験を活かして次は前よりも英語で話せるようにしたい。

英語や外国語に対して抵抗がなくなった。

色々な人がまだ自分の知らないところにいるのだと思い、自分は井の中の蛙であるなと思った。外に出ることの大切さを学んだ。

コミュニケーション能力が高まった

留学(アメリカ)はしませんが、英語力をつけたいと思い、フィリピンへ1か月、オーストラリアでワーキングホリデーを1年することにしました。

就職先に海外事業所があるので、そこに行き挑戦したい。

この経験によって英語を学びたいと思うようになり、現在英語に関わる職業についている。中学生の時、踏み出した一歩が、今本当に大きな影響を与えてくれました！

大学で長期間の英語留学をしようと思った。英語を話すことや外国人への抵抗がなくなった。

海外に行ったことで、自分の夢が今まで以上に明確化された気がします。また、海外についてのニュースに興味を持つようになりました。

私はこの国際交流に参加したことをきっかけに、NZに1年間留学する高校に進学しました。留学という経験は自分自身をさらに成長させてくれると思うので、大学でも留学したいと考えています。

外国に関心を持ったことで、積極的に外国人と関わりを持ちたいと思え、留学をしたいと思えるようになった。

第1の変化は人と(主に外国人)と話すことがけっこう緊張せずにスムーズに軽くできるようになりました。特に英語のコミュニケーションテストではALTの先生からとてもほめられることが多かった。

英語を学ぶことに興味を持ったので、外国語を学ぶ大学に進学したいと思ったこと。

短い期間ではあったが、全く違う環境で生活したことはいい経験になったと思う。

英語がわからなくて、相手と上手くコミュニケーションをとれなかったことが悔しくて、英語を勉強しようと思った。

英語教師なることが夢なので、国際交流で学んだことを上手に活かしていきたいです。

英語に特化した学科のある高校に進学しました。

社会人になって海外へ行くことになった際、この国際交流での体験を活かすことができると思う。

コミュニケーション能力に優れたところや、何事にも好奇心を持つこと、仲間と交わろうとする姿勢を学んだことを今後活かしたい。

外国語に興味を持った。

色んな人と積極的にコミュニケーションをとることができるよう、訪問団での経験を活かしていきたいです。

外国へのあこがれが強くなり、大学在学中は長期留学に挑戦するきっかけともなった。また現在は海外と取引のある会社に勤めている。

大学の進路選択に役立った。英語科の大学に進もうと思い、現在上智大学英語科にいます。将来は貿易事務が英語力を活かした仕事をしたいと思います。